

ケサンラ®による 治療を受ける方と ご家族・介護者の方へ

安全に治療をお受けいただくために

もくじ

はじめに ケサンラとは 2

ケサンラの投与で特に注意が必要な副作用 3

1. アミロイド関連画像異常(ARIA)^{アリア}、脳出血 3

2. 重篤な過敏症(アナフィラキシーを含む) 4

ケサンラの投与とMRI検査のスケジュール 5

ケサンラの治療を受けている病院以外を受診する際には、
必ずケサンラの治療を受けていることを伝えましょう。… 6



はじめに

ケサンラとは

ケサンラは、アルツハイマー病の原因と考えられている脳内のアミロイド^{ペータ} β プラークを取り除きます。これにより、アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度の認知症の進行を遅くする効果が期待されています。

このような効果が期待される一方で、ケサンラのようなアミロイド^{ペータ} β プラークを取り除くお薬を使用すると、この冊子で説明している副作用があらわれることがあります。

主治医と共に副作用を早期に発見できるよう注意して、治療を継続していきましょう。

ケサンラが、大切な人々とのかけがえのない時間をより長く、あなたらしく過ごしていくための、一助となることを願っています。



ケサンラの投与で特に**注意が必要**な

1. アミロイド関連画像異常 (ARIA)^{アリア}、脳出血

ARIA^{アリア}は、脳のむくみや脳の一部の出血などがMRI検査で認められる画像所見です。これらは脳からアミロイド β ^{ベータ}プラークが除去される際、一時的に血液成分が血管の外に漏れ出すことで起こるといわれており、ケサンラのようなアミロイド β ^{ベータ}プラークを除去する薬を使用すると発現する可能性があります。多くの場合、無症状ですが、症状を伴う場合もあります。

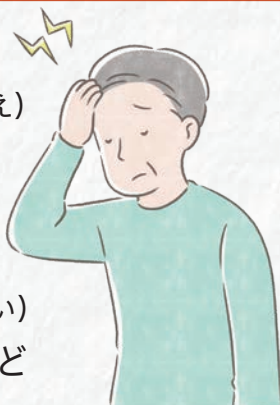
なお、ARIAの発現しやすさには、遺伝的背景(アポリポ蛋白E<APOE>遺伝子の型)が関係することが知られています。このため、APOE遺伝子検査を行うかどうかをご本人・ご家族や介護者などと相談の上、主治医が検討します。検査を行う場合は、検査の目的や内容について十分説明を受け、十分に理解し、同意したうえで、国が承認した検査方法を用いて行われます。

また、脳出血が見られることがあります。主な症状としては、突然意識が低下・消失する、手足が動かない、頭痛、嘔吐、めまい、言葉がでないなどがあります。

^{アリア}
ARIAに関連する症状には、下記のようなものがあります。

- ☐ 頭痛
- ☐ 錯乱
(注意力が散漫になる、
問いかけに間違った
答えをする、行動に
まとまりがない)
- ☐ 吐き気
- ☐ 嘔吐(おうと)

- ☐ めまい
- ☐ けいれん(手足のふるえ)
- ☐ 視覚障害
(見えづらくなった、
文字や形が見えにくい)
- ☐ 言語障害(言葉がでない
など)



副作用

2. 重篤な過敏症（アナフィラキシーを含む）

ケサンラの投与で、重篤な過敏症があらわれる可能性があります。多くは投与中または投与終了後30分以内にあらわれるので、**医療機関の指示に従い、しばらく様子をみましょう。**

重篤な過敏症に関連する症状には、下記のようなものがあります。

- ☐ 赤い湿疹
- ☐ 寒気
- ☐ 吐き気
- ☐ 嘔吐(おうと)
- ☐ 汗をかく
- ☐ 息苦しい(呼吸困難)

など



**治療を
受けられる方**

上記のような症状があらわれた場合は、ケサンラの治療を受けている病院に速やかに連絡して受診する、もしくはご家族、介護者に伝えてください。

**ご家族、
介護者の方**

ご家族・介護者の方も、ケサンラの投与を受けている方の状態の変化について観察し、普段と様子が異なる場合には、ケサンラの治療を受けている病院に速やかに連絡してください。



ケサンラの投与とMRI検査のスケジュール

投与の方法と間隔

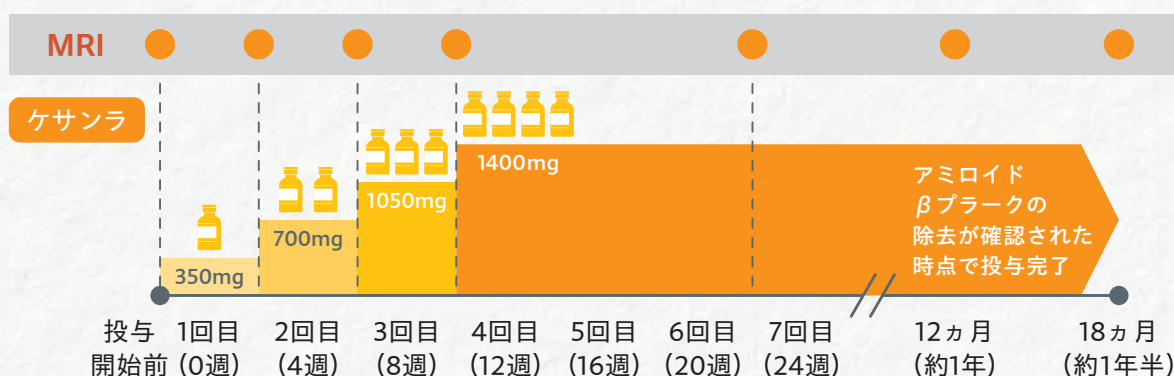
ケサンラは、4週間に1回、少なくとも30分かけて点滴により投与します。アミロイドPET検査により、アミロイド^{ページ} β プラークの除去が確認されたら投与完了となります。

除去が確認されない場合でも、原則最長1年半(18ヵ月)で投与完了となります※。

※ 治療の状況および副作用の発現状況により、18ヵ月より早く医師が投与の完了・中止を判断する場合があります。

MRI検査のスケジュール

MRI検査は、投与開始前(1年以内)、2回目・3回目・4回目・7回目の投与前、以降6ヵ月に1回、行うこととされています(ケサンラ電子添文、最適使用推進ガイドラインに基づく)。ARIA^{アリア}を疑う症状(3ページ参照)があらわれた場合には、これらのタイミング以外にもMRI検査を行います。



アミロイド関連画像異常(ARIA^{アリア})を早期に発見するためにMRI検査が必要です。医師の指示に従い、必ずMRI検査を受けましょう。

ARIAの多くは治療開始24週以内に報告されています。

ケサンラの治療を受けている
病院以外を受診する際には、
必ずケサンラの治療を受けていることを
伝えましょう。

「ケサンラ®治療カード」を
常に携帯し、医師・薬剤師に
提示してください。



ケサンラと下記のお薬と一緒に使用すると、脳に出血が起こる可能性があり、特に注意が必要です。

● 血栓ができるのを防ぐ薬

ワルファリンカリウム、アスピリン、クロピドグレル硫酸塩など

● 血栓を溶かす薬

アルテプラゼ（遺伝子組換え）など

製品に関して

電話 **0120-245-970**※1 **078-242-3499**※2

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30※3

※1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。尚、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。

※2 フリーダイヤルでの接続が出来ない場合、このお電話番号にお掛けください。尚、通話料はお客様負担となります。

※3 祝祭日および当社休日を除きます。

ケサンラで治療中の方とご家族向け

リリーサポートサービス ケサンラご相談窓口についてはこちら

電話 **0120-062-280**

受付時間 365日 9:00～17:00

医療機関名

担当医名

医療機関電話番号
(緊急時の連絡先)

日本イーライリリー株式会社